

CHACONNE

DEALERS OF FINE VIOLINS

美しい音楽が溢れる未来へ。



シャコンヌはイタリアのオールド楽器から子供用の楽器まで、また貴重なフレンチ弓から新作弓までの、幅広い弦楽器を販売しています。

また、質の高い技術を持った専門家が修理、修復を行ない、あらゆるご要望にお応えすることができます。

世界の遺産とも言うべき貴重なイタリアン・オールドを数多くコレクションし、演奏家の方々にレンタルをしています。

これらコレクションはまた、広範な研究をするための基礎となり、特に「良い音」と「ニス」の解明に多に役立っています。

過去の製作家による作品を研究することで、「良い音とは何か」について深く理解し、良い音を生み出すための技術を開発してきました。そこで得られた知識は、オールド楽器の調整だけでなく、全ての楽器の調整にも活かされています。



シャコンヌ名古屋店

名古屋市中区栄2丁目11-19

熊田白川ビル2F・3F

Tel 052-202-1776

3F: 店舗・工房

2F: チェロ・書籍・楽器レンタル・サロン

営業時間/10:00~18:30

定休日/日・月曜

<http://www.chaconne.info>

(毎月更新しています)

地下鉄伏見駅5番出口より徒歩5分
栄駅・矢場町駅より徒歩10分

The 36th Kurashiki Orchestra

倉敷管弦楽団

第36回定期演奏会

日時

2010. 6.27 [SUN] 14時30分開演
(14時開場)

場所

倉敷市民会館



指揮: 角田 鋼亮



ピアノ: 松本 和将



助成:



芸術文化振興基金助成事業

主催: 倉敷管弦楽団 共催: 倉敷市文化連盟
後援: 岡山県・倉敷市・第25回国民文化祭岡山県実行委員会・RSK山陽放送・OHK岡山放送・
KSB瀬戸内海放送・岡山県郷土文化財団



倉敷管弦楽団
団長 田辺幹夫

最近「楽団長は短気ですけど何か？」という変わった題名の本を読みました。

著者は東京交響楽団の前楽団長、金山茂人氏で、読んでみると別に短気でもないようですが、オーケストラの運営にまつわる苦労話や面白い話がたくさんあり、大変楽しく

読ませてもらいました。

著者によると、オーケストラの楽器とその演奏者の性格にはそれぞれ特徴があるそうで、例えば私がひいているチェロの場合、チェロひきの特徴はよくいえば個性的、正直に言えばわがままで云々とあり、その他すべての楽器についてそれを演奏する人の性格が描いてあり、大変面白いです。とにかくオーケストラをやる人にも聞く人にもお勧めしたい本です。

今日の演奏は指揮者角田鋼亮氏、ピアノ松本和将氏という若手演奏家の出演です。若さにあふれた演奏をご期待下さい。

R. ワーグナー：歌劇「さまよえるオランダ人」序曲

S. ラフマニノフ：ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調、作品18

第1楽章 Moderato

第2楽章 Adagio sostenuto

第3楽章 Allegro scherzando

————— 休憩 —————

J. ブラームス 交響曲 第1番 ハ短調、作品68

第1楽章 Un poco sostenuto - Allegro

第2楽章 Andante sostenuto

第3楽章 Un poco allegretto e grazioso

第4楽章 Adagio - Piu andante - Allegro non troppo, ma con brio

R.ワーグナー (1813～1883) 歌劇「さまよえるオランダ人」序曲

さまよえるオランダ人は、中世ヨーロッパに伝わる幽霊船伝説にもとづいて作られた3幕の歌劇で、1841年にパリで完成、1843年ドレスデンで初演された。台本の大筋はハイネの小説によるものであるが、ワーグナー自身のアイデアも随所に見られ、彼が1839年夏にイギリスに渡る際、洋上で暴風雨に遭ったときの苦難の体験が、作品に大きく影響を与えているとも言われている。

オランダ人の船長は、洋上で大時化に遭遇した際、神を呪ってしまった。その為、世の終わりのときまで嵐の中をさまよいつけるという罰を受けるが、同情した天使のはからいで、7年に1度、1日だけ上陸することを許される。そしてその日に、永遠の愛をささげる女性に出会うならば救済される、というものであった。だが、7年ごとの救済への希望は幾度となく打ち砕かれた。そうしたある日、オランダ人はノルウェー人の船長ダーラントの娘ゼンタとめぐり会う。ゼンタもまた、オラン

ダ人との出会いを予感しており、2人の愛は成就するかにみえた。その時、ゼンタに想いをよせる獵師エリックがゼンタに言い寄るのを見て、オランダ人はゼンタが裏切ったと思い込み、絶望して再び嵐の中へと出帆してゆく。ゼンタが、オランダ人を追って崖から海に身を投げると、オランダ人の船も沈没し、やがてオランダ人とゼンタの魂は共に昇天していく。

以上が物語の簡単なあらすじであるが、本日演奏するのは、序曲のみである。この序曲は、歌劇全体が作曲された後に作られたため、全体を集約したような濃密さをもっている。曲は、海上の嵐の描写を背景としながら、「呪われたオランダ人の動機」と「ゼンタの救済の動機」とが対立的におかれ、この2つがいわば主題となり、それに水夫の合唱などが明るい気分をそえつつ、交響的な迫力と壮麗さを繰り広げている作品である。

(相澤 弘明)

S.ラフマニノフ (1873～1943) ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調、作品18

20世紀前半のロシアを代表する作曲家セルゲイ・ラフマニノフはオペラも交響曲、室内楽曲も作曲しましたが、もっとも身近な楽器はピアノでした。事実ラフマニノフ自身が当代最高と讃えられた名ピアニストでもあった関係から、ピアノ曲に最大の創作意欲を注ぎ込んだ作曲家でもありました。70年の生涯に残されたピアノ協奏曲は4曲ですが、ラフマニノフはヴァイオリンやチェロなど他の器楽のための協奏曲は一切作っておらず、この点からもピアノの人であったことを強く印象づけるものとなっています。改めていうまでもなく、これらの4曲の中で最大の傑作として広く親しまれているのは第2番の協奏曲です。倉敷管弦楽団でも、何人かピアニストを招き、何度か演奏する機会がありました。今回は岡山県倉敷市出身の松本和将氏をソリストにお迎えしての演奏になります。

第1楽章 Moderato ハ短調 2/2拍子 ソナタ形式

ピアノの打ち鳴らす重々しい和音を序奏として始まります。この和音は「クレムリン宮殿の鐘」と言われることもあるそうです。ピアノが情熱的なアルペジオを奏し、それをバックに弦とクラリネットが第1主題をうたい出します。この主題はチェロのロマンティックなメロディに受け継がれます。第2主題はピアノが明るい抒情の流れをうたいあげます。展開部は第1主題の動機を伴奏として低弦に力強い動機があらわれ熱っぽく力感をこめたクライマックスに連続します。

第2楽章 Adagio sostenuto ホ長調 4/4拍子 三部形式

全体に憂わしげな憧れとでもいえる、ラフマニノフ独特の音の世界です。中間部では劇的なコン

トラストがひとときの緊張したムードをつくり出しています。

第3楽章 Allegro scherzando ハ短調 3/2拍子 ソナタ形式

エネルギーな動機で激しく始まります。第1主題はピアノで力強いいきいきと飛翔し、第2主題

J.ブラームス (1833～1897) 交響曲 第1番 ハ短調、作品68

この交響曲第1番は、1877年、ブラームス43歳の時の作品です。実は、22歳の時に交響曲の着想がなされ、その後、21年もの期間をかけて完成しました。これは、先人ベートーヴェンの交響曲が、あまりにも偉大なもので、これを超える作品を造りたいとの、強いこだわりがあったためと思われる。そのせいか、すみずみまで熟考された、ブラームスの個性がきらめく、きわめて完成度が高い作品になっています。また、古典的な手法での完成度をめざして作曲されており、現在に至るまで、交響曲分野の重要な作品となっています。一方で、ブラームスが生涯敬愛した女性「クララ・シューマン」への想いが、作品中いたるところに反映されています。

第1楽章 Un poco sostenuto - Allegro ハ短調

ティンパニーとコントラバスのC音(ド)の強い連打①、にのって、ヴァイオリン、チェロの上向する半音階的上昇旋律②、と木管とホルン、ヴァイオリンの下降旋律③、が交錯する、きわめて重い雰囲気の前奏で始まります。ブラームスの意思の強さを感じます。主部では、序奏で提示された①、②、③が自由自在に展開し、織り成してゆきます。ティンパニーの連打①は、運命の主題をあらわしているかのようです。特に、展開部から再現部にかけて、緊張感やエネルギーは筆舌につくしがたく、演奏する者、聴く者を圧倒します。

第2楽章 Andante sostenuto ホ長調

重厚で強い表現の1楽章の直後であり、やすらぎを感じさせます。憧れをあらわすような、オーボエやクラリネットのソロが印象的です。楽章後半では、ヴァイオリンのソロによる旋律があり、より

はオーボエとヴァイオリンがメランコリーなメロディを奏でます。展開部では第1主題がワーグナーの手法で扱われ、再現部からは一段と華々しさを増したピアノが技巧を誇示しながら、絢爛と、しかし、ロシア的情緒の濃密さをも忘れることなく堂々と盛り上がるエンディングで圧倒的に締めくくります。

(八木原周平)

色彩的な音楽になります。

第3楽章 Un poco allegretto e grazioso 変イ長調 複合三部形式

クラリネットによる優雅で田園的な旋律がチェロのピチカート伴奏に乗って出ます。中間部では、例の運命の主題①の変形でやや緊張感があります。その後、はじめの主題にもどり、静かに終わります。が、間髪いれず、次の4楽章に入ります。

第4楽章 Adagio - Piu andante - Allegro non troppo, ma con brio

長い序奏がついたソナタ形式です。重苦しい低音に導かれて、ヴァイオリンが主部のテーマをゆつくりと演奏します。弦楽器の弱音ピチカートや、うめくような低音、突然あらわれるヴァイオリンの細かい下降音形など、手に汗握る緊張感があります。盛り上がった後、突然のティンパニーの強打が入り、流れを遮断します。Piu Andanteにはいり、ホルンが、いままでの重苦しい雰囲気を、一気に吹き飛ばす堂々たる旋律を演奏します。これは、クララ・シューマンテーマです。「高い山から、深い谷から、君に何千回も挨拶しよう」との歌詞もついています。大聖堂のミサを思わせるコラールがあり、序奏が静かに終わります。主部はいり、弦楽器による朗々たる旋律が出ます。古今の多くの名曲の中でも、とびぬけて秀逸の名旋律だと思います。旋律は管楽器群、全合奏へと繰り返し、クララの旋律を織り成して展開してゆきます。じわじわと緊張感を盛り上げ、そのまま早いテンポのコーダに突入します。全合奏でコラールが再現されたあと、勇壮に全曲を閉じます。

(松江雄二)



指揮者: 角田 鋼亮
(つのだこうすけ)

2006年、第3回ドイツ全音楽大学・指揮コンクールで最高位を獲得。2008年、第4回カラヤン生誕100周年記念の同コンクールでも2位入賞を果たした。2010年第3回マーラーコンクールでは最終の6人に残った。1980年、愛知県名古屋市生まれ。1999年、東京藝術大学音楽学部指揮科に入学。指揮法を松尾葉子、佐藤功太郎、ピアノを佐藤俊各氏に師事。2000、01、02年度野村学芸財団の奨学生となる。02年には学内で安宅賞を受賞。03年、同大学大学院に入学、04年にはクルト・マズア氏によるマスタークラスの受講生に選ばれ指導を受けた。2005年4月から渡独し、9月からはベルリン音楽大学「ハンス・アイスラー」にて学ぶ。指揮をクリスティアン・エーヴァルト、コレペティトゥアをアレキサンダー・ヴィトリン、ピアノをスザンネ・グリュツマン各氏に師事。2007年2月に開催されたワークショップ「INTERAKTION2007」ではベルリン・フィルやシュターツカペレ・ベルリンなどメンバーを中心とする特別編成オーケストラを指揮し、高度な音楽性と確かな指揮技術を賞賛された。08年3月に一度東京芸術大学修士課程を修了し、翌年3月にはベルリン音楽大学でディプロムを取得した。これまで共演したオーケストラは、コンツェルトハウスオーケストラ・ベルリン、ブランデンブルク交響楽団、ドレスデン州立劇場オーケストラ、上海歌劇院管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、ソリストはウィーン・フィルのコンサートマスターであるライナー・キュッヒル、同オーケストラのクラリネット奏者エルンスト・オッテンザマー、ピアニストの小川典子、外山啓介、田村響、北村朋幹氏などが挙げられる。一方、オペラ、バレエ、ミュージカルの分野でも活躍。04年、TPT主催ミュージカル「ナイン」(デーヴィット・ルヴォー氏演出)では急遽指揮者を務め、その公演は紀伊國屋演劇大賞を授与され、また月刊「ミュージカル」誌において2004年度ミュージカルのベスト2にランクインした。オペラでは古典から現代物まで二十以上の作品を指揮し、とりわけ04年に手掛けたシューベルトのオペラ「四年間の哨兵勤務」「サラマンカの友人達」の日本初演は、「モーストリー・クラシック」誌において、その手腕を高く評価された。新国立劇場、二期会、東京室内歌劇場では公演により副指揮者を務める。新春スペシャル版「のだめカンタービレ」においては指揮指導を、映画版では合わせてピアノ吹き替えを務めた。



ピアニスト: 松本 和将
(まつもとかずまさ)

1979年、岡山県倉敷市に生まれる。1998年日本音楽コンクールに優勝し、併せて増沢賞はじめ全賞を受賞。2001年ブゾニ国際ピアノコンクール(イタリア)第4位。2003年には世界三大コンクールの一つ、エリーザベト王妃国際音楽コンクール(ベルギー)で第5位入賞を果たす。各地でのソロリサイタルや室内楽をはじめ、これまでにプラハフィル、読売日響、日本フィル、新日本フィル、東京交響楽団、東京フィル、ベルギー国立オーケストラ、大阪フィル他多くのオーケストラと協演。米国、チェコ、中国、ドイツ、フランス、スウェーデン、ニュージーランドなどでの演奏会にも出演する。室内楽では2006年～2007年オーボエの宮本文昭ラストコンサートツアーに参加。チェロの趙静とのデュオも好評を博す。2006年、ベートーヴェン3大ピアノソナタで全国ツアーを行う。2008年バイオリンの渡辺玲子氏とNHK-FM「ベストオブクラシック」に出演。東京芸術大学創立120周年記念音楽祭に出演。別府アルゲリッチ音楽祭に招待され、リサイタル&マスタークラスを行う。2009年10周年記念リサイタルで、全国ツアーを行う。ビクターエンターテインメントより9枚のCDをリリース、各誌で絶賛される。近年はジャンルを超えて、和太鼓、箏、尺八など和楽器とのコラボレーションやジャズにも興味を広げている。2009年より東京芸術大学、くらしき作陽大学にて後進の指導にもあたる。谷口厚子、芦田田鶴子、故中島和彦、角野裕、御木本澄子、パスカル・ドヴァイヨンに師事。岡山県芸術特別顕賞、倉敷市芸術文化栄誉章、福武文化奨励賞、マルセン文化賞、エネルギー音楽賞受賞。

公式HP:<http://www.kaz-matsumoto.com>

公式ブログ:<http://www.kaz-matsumoto.cocolog-nifty.com>

倉敷管弦楽団 Kurashiki Orchestra

「美しい音色とよいアンサンブルで質の高い演奏を」を合言葉に昭和49年に設立され、文化都市倉敷市にふさわしいレベルの高い楽団として活躍を続け、毎年約5回の演奏会を開催し今年で36年目になります。

その間、昭和57年には岡山県教育関係功労者表彰、昭和60年には倉敷市文化連盟賞、平成16年には三木記念助成金、平成18年には福武文化奨励賞を受賞しました。また平成18年には常任指揮者の菊池東氏が倉敷市文化章を受章しました。

毎年1回開催する定期演奏会では、これまで客演指揮者に早川正昭氏、堤俊作氏、金洪才氏、佐渡裕氏、星出豊氏、田中一嘉氏、増井信貴氏を招き、団員のレベルアップを図っています。また今まで競演したソリストも多く、フルートでは世界的巨匠ジャン・ピエール・ランパル氏、ヴァイオリンでは、イヴリー・ギトリス氏、前橋汀子氏、漆原啓子氏、天満敦子氏、アナスタシア・チェボタリョーワ氏、久保陽子氏、ピアノの深沢亮子氏、伊藤恵氏、花房晴美氏、ウラジミール・オブチニコフ氏、ルース・スレンチェンスカ氏、チェロの岩崎洸氏、山崎伸子氏、オーボエの茂木大輔氏、トランペットの津堅直弘氏、ホルンの松崎裕氏、ギターの福田進一氏らを招聘。また岡山県内で活躍している演奏家との共演も数多く行っています。倉敷音楽祭へも毎年のように出演し、ミュージカル「11匹のネコ」、ショスタコーヴィッチ オラトリオ「森の歌」、プッチーニ「ラ・ボエーム」、團伊玖磨「夕鶴」、ビゼー「カルメン」等のオペラ、又今年はレスピーギ 交響詩ローマの祭などを演奏しました。県内のオーケストラを聞く機会が少ない地域へも毎年のように出向いて演奏会を開いて来ました。

演奏曲目はバロックから現代曲まで幅広く、團伊玖磨氏作曲「管弦楽のための高梁川」、小六禮次郎氏作曲「瀬戸内賛歌」などを初演。オペラではモーツァルト「魔笛」、「フィガロの結婚」、「コシ・ファン・トゥッテ」、ビゼー「カルメン」、J・シュトラウス「こうもり」、プッチーニ「蝶々夫人」等を演奏。

創立10周年記念演奏会では400名からなるベートーヴェン「第九」、20周年ではイヴリー・ギトリス氏、岩崎洸氏との「コンチェルトの夕べ」を開催し、30周年ではマーラー「交響曲第1番・巨人」を演奏しました。

倉敷管弦楽団 団員募集

定例練習日 毎週月曜日 午後7:00~9:30
練習場所 倉敷市文化交流会館
団員資格 オーケストラ経験者で、練習・演奏会に参加できる人
募集パート 全パート
●お問い合わせは 田辺幹夫／☎086-263-3521 菊池 東／☎086-522-5145
<http://kurakan.org/kurakan-blog/>

倉敷管弦楽団

団長／田辺幹夫 常任指揮者／菊池 東

ソロコンサートマスター／佐藤真理子 コンサートマスター／阿曾沼和代

運営委員長／松江雄二 運営委員／岡崎将丈 大西智幸 澤田秀美

監事／鮑浦良和 月本裕子

Violin1	佐藤真理子 金川 理恵 森安 鋭子	阿曾沼和代 小林 佐知 柳井 典子	◎藤田 真理 杉山 晃一	稲田まどか 鈴木 文香	岡田英里奈 丸山 博樹
Violin2	相澤 恵里 大村 奈美 三宅 郁子	中塚えりか 岡崎千瑞子 村上 節美	◎上原 保美 清久 彩	鮑浦 良和 中島 恵子	大瀬戸景子 平松 綾
Viola	◎松江 靖子 小村 知子	菊池 東 武本 克己	岩瀬 裕子 日笠 京子	大塚 浩二 八木原周平	片山佳央理 ※山下 徳美
Violincello	◎松江 雄二 田中 光子	石川 恵子 田辺 幹夫	大西 智幸 辻田 順子	栗木由美子 平松 眞弓	佐伯枝里子 松本 圭子
Contrabass	◎本屋敷勝信 松本 高広	糸島 早苗 ※岡崎謙一郎	田中よしこ ※川田 慎浩	土井 幸雄 ※仲原 利江	平松 博之
Flute	◎坂井 昌子	小池かほる	月本 裕子	宮尾 紀子	
Oboe	◎武縄 生子	瀬尾 祥治	吉田 容子		
Clarinet	◎松本美和子	小笠原泰志	福島 恭子		
Fagotto	◎西 恵美	大賀 智子	※西牧 岳		
Horn	◎加藤 友美	相澤 弘明	大島 賢治	澤田 秀実	吉市 幹雄
Trumpet	◎松尾 健一	原田 宗範			
Trombone	松尾 浩寿	曾布川拓也	※原田 直郎		
Tuba	浅野 尚行				
Percussion	◎高尾 暢子	※井上 充隆	※河田江理奈		
Harp	竹村 知子				

◎パートリーダー ※客演

S.50.12.8
第1回定期演奏会
指揮/菊池 東
ヘンデル/合奏協奏曲Op6・10
ヴィヴァルディ/
協奏曲集「四季」より<春><夏>
バッハ/
カンタータBWV202、
ブランデンブルク協奏曲第4番
小山清茂/弦楽の為のアイヌの歌

S.51.11.16
第2回定期演奏会
指揮/早川正昭
チェロ/山崎伸子
ヴィヴァルディ/
2つのトランペットの為の協奏曲ハ
長調
バッハ/
ブランデンブルク協奏曲第1番ハ長
調
レスピーギ/
リュートの為の古代舞曲とアリア第
3組曲
ボッケリーニ/チェロ協奏曲変ロ長調

S.53.1.8
第3回定期演奏会
指揮/フォルカー・レニッケ
ヴァイオリン/和波孝禧
ヘンデル/水上の音楽(ハレ版)
モーツァルト/
ヴァイオリン協奏曲第3番ト長調
ドヴォルザーク/弦楽セレナーデハ長調

S.53.12.10
第4回定期演奏会
指揮/菊池 東
ピアノ/深沢亮子
ブリテン/シンブルシンフォニー
バッハ/
2つのヴァイオリンの為の協奏曲ニ
短調
モーツァルト/交響曲第38番ニ長調
モーツァルト/
ピアノ協奏曲第20番ニ短調

S.54.12.9
第5回定期演奏会
指揮/菊池 東
チェロ/安田謙一郎
モーツァルト/交響曲第40番ト短調
ハイドン/チェロ協奏曲第2番ニ長調
ベートーヴェン/交響曲第1番ハ長調

S.55.12.7
第6回定期演奏会
指揮/堤 俊作
オーボエ/ディーテルム・ヨナス
モーツァルト/オーボエ協奏曲ハ長調
ヘンデル/合奏協奏曲Op.6-6
ドヴォルザーク/
交響曲第9番ハ短調「新世界より」

S.56.6.9
第7回定期演奏会
指揮/早川正昭
モーツァルト/
ディヴェルティメントニ長調
ビゼー/「アルルの女」第2組曲
ベートーヴェン/交響曲第7番イ長調

S.57.6.6
第8回定期演奏会
指揮/古谷誠一
ベートーヴェン/「エグモント」序曲
モーツァルト/交響曲第41番ハ長調
「ジュピター」
スメタナ/交響詩組曲「わが祖国」より
《高い城》《モルダウ》

S.58.12.11
第9回定期演奏会
指揮/湯浅卓雄
ヴァイオリン/豊田弓乃
モーツァルト/
「フィガロの結婚」序曲
メンデルスゾーン/
ヴァイオリン協奏曲ハ短調
ベートーヴェン/
交響曲第3変ホ長調「英雄」

S.59.12.2
倉敷第九演奏会(第10回定期演奏会)
指揮/堤 俊作
ベートーヴェン/
「レオノーレ」序曲第3番
交響曲第9番ニ短調「合唱付」

S.60.6.1
第11回定期演奏会
指揮/金 洪才
トランペット/津堅直弘
ドビュッシー/小組曲
フンメル/トランペット協奏曲変ホ長調
ブラームス/交響曲第2番ニ長調

S.61.6.1
第12回定期演奏会
指揮/佐渡 裕
ヴァイオリン/守屋美枝子
ヴィオラ/江島幹雄
シベリウス/組曲「カレリア」
モーツァルト/協奏交響曲変ホ長調
メンデルスゾーン/
交響曲第3番イ短調「スコットランド」

S.62.6.7
第13回定期演奏会
指揮/佐渡 裕
モーツァルト/
交響曲第35番ニ長調「ハフナー」
ブラームス/交響曲第1番ハ短調

S.63.6.5
第14回定期演奏会
指揮/古谷誠一
ヴァイオリン/景山誠治
モーツァルト/
「ドン・ジョバンニ」序曲
チャイコフスキー/
ヴァイオリン協奏曲ニ長調
交響曲第4番ハ短調

H.1.6.4
第15回定期演奏会
指揮/星出 豊
ヴェルディ/「ナブッコ」序曲
ヘンデル/水上の音楽(抜粋)
ブラームス/交響曲第4番ハ短調

H.2.6.3
第16回定期演奏会
指揮/田中一嘉
ピアノ/伊藤 恵

メンデルスゾーン/
序曲「フィガロの洞窟」
ベートーヴェン/
ピアノ協奏曲第5番変ホ長調「皇帝」
交響曲第6番ハ長調「田園」

H.3.6.2
第17回定期演奏会
指揮/田中良和
チェロ/岩崎 洸
ロッシニ/
「セヴィリアの理髪師」序曲
ドヴォルザーク/チェロ協奏曲ハ短調
チャイコフスキー/
交響曲第6番ハ短調「悲愴」

H.4.5.31
第18回定期演奏会
指揮/小出雄聖
ギター/福田進一
ビゼー/組曲「カルメン」より
ロドリゴ/アランフェス協奏曲
シベリウス/交響曲第2番ニ長調

H.5.6.6
第19回定期演奏会
指揮/増井信貴
ピアノ/伊藤 恵
チャイコフスキー/
幻想序曲「ロメオとジュリエット」
ベートーヴェン/
ピアノ協奏曲第4番ト長調
ブラームス/交響曲第3番ハ長調

H.6.6.5
第20回定期演奏会
指揮/金 洪才
ホルン/松崎 裕
ブラームス/大学祝典序曲
R.シュトラウス/
ホルン協奏曲第1番変ホ長調
ショスタコヴィッチ/
交響曲第5番ニ短調

H.6.12.18
コンチエルトのタベ
〔倉敷管弦楽団20周年記念〕
指揮/飯森範親
ヴァイオリン/イヴリー・ギトリス
チェロ/岩崎 洸
モーツァルト/「魔笛」序曲
ボッパー/ハンガリア狂詩曲
ブラームス/
ヴァイオリンとチェロの為の二重協
奏曲イ短調

H.7.6.4
第21回定期演奏会
指揮/金 洪才
ピアノ/花房晴美
ボロディン/
「イーゴリ公」よりダッタン人のおどり
ラフマニノフ/
ピアノ協奏曲第2番ハ短調
チャイコフスキー/
交響曲第5番ハ短調

H.8.5.26
第22回定期演奏会
指揮/金 洪才
琵琶/陶 敬頼
バーバー/弦楽のためのアダージョ
呉相強・王燕樵・劉徳海/

琵琶協奏曲「草原小姐妹」
ベルリオーズ/幻想交響曲ハ長調

H.9.5.25
第23回定期演奏会
指揮/小野田宏之
オーボエ/茂木大輔
モーツァルト/
交響曲第39番変ホ長調
オーボエ協奏曲ハ長調
ムソルグスキー・ラヴェル/
組曲「展覧会の絵」

H.10.5.31
第24回定期演奏会
指揮/金 洪才
ヴァイオリン/天満敦子
ウェーバー/「オベロン」序曲
シベリウス/
ヴァイオリン協奏曲ニ短調
ブルックナー/
交響曲第4番変ホ長調「ロマン
ティック」

H.11.5.30
第25回定期演奏会
指揮/増井信貴
ピアノ/若林 顕
ブラームス/ピアノ協奏曲第2番変ロ
長調
ラフマニノフ/交響曲第2番ハ短調

H.12.5.28
第26回定期演奏会
指揮/増井信貴
プロコフィエフ/交響曲第1番ニ長調
「古典」
リスト/交響詩・前奏曲
ブラームス/交響曲第2番ニ長調

H.13.5.27
第27回定期演奏会
指揮/田中良和
ピアノ/有森 博
ドヴォルザーク/序曲「謝肉祭」
ラフマニノフ/ピアノ協奏曲第3番ニ
短調
シベリウス/交響曲第1番ハ短調

H.14.5.26
第28回定期演奏会
指揮/牧村邦彦

ヴァイオリン/
アナスタシア・チェボタリョーフ
ベルリオーズ/
序曲「ローマの謝肉祭」
チャイコフスキー/
ヴァイオリン協奏曲ニ長調
チャイコフスキー/
交響曲第6番ハ短調「悲愴」

H.15.5.25
第29回定期演奏会
指揮/平井秀明
ヴァイオリン/久保陽子
ロッシニ/「どろぼうかささぎ」序曲
ブラームス/ヴァイオリン協奏曲ニ長
調
ドヴォルザーク/交響曲第7番ニ短調

H.16.5.29
第30回定期演奏会
指揮/田中一嘉
バーンスタイン/「キャンディード」序曲
レスピーギ/
リュートのための古風な舞曲とアリ
ア第2組曲
マーラー/交響曲第1番ニ長調「巨人」

H.17.5.29
第31回定期演奏会
指揮/田中一嘉
モーツァルト/
交響曲第38番ニ長調「プラハ」
リヒャルト・シュトラウス/
交響詩「ドン・ファン」
ブラームス/交響曲第4番ハ短調

H.18.5.28
第32回定期演奏会
指揮/増井信貴
ウェーバー/
歌劇「魔弾の射手」序曲
メンデルスゾーン/
交響曲第4番イ長調「イタリア」
リムスキー=コルサコフ/
交響組曲「シェエラザード」

H.19.5.27
第33回定期演奏会
指揮/曾我大介
スメタナ/
歌劇「売られた花嫁」序曲
モーツァルト/

交響曲第41番ハ長調「ジュピター」
ストラヴィンスキー/
組曲「火の鳥」(1945年版)

H.20.1.27
松本和将with倉敷管弦楽団
指揮/菊池 東
ピアノ/松本和将
グリーク/
「ペールギュント」第1組曲
グリーク/
ピアノ協奏曲イ長調
ショパン/
ピアノ協奏曲第1番ハ短調

H.20.6.22
第34回定期演奏会
指揮/金 洪才
メンデルスゾーン/
「真夏の夜の夢」より
プロコフィエフ/
「ロメオとジュリエット」より

H.21.3.16
第23回倉敷音楽祭
倉敷管弦楽団演奏会
指揮/菊池 東
ピアノ/山田英代
真島俊夫(編曲:佐藤正俊)/
五つの沖縄民謡による組曲
ベートーヴェン/
ピアノ協奏曲第1番ハ長調
ドヴォルザーク/
交響曲第9番ハ短調「新世界より」

H.21.11.15
第35回定期演奏会
指揮/堤 俊作
ハチャトゥリアン/組曲「仮面舞踏会」
チャイコフスキー/
弦楽のためのセレナードハ長調
ドヴォルザーク/交響曲第8番ト長調

H.22.3.22
第24回倉敷音楽祭
倉敷管弦楽団演奏会
指揮/菊池 東
津軽三味線/木乃下真市
伊福部昭/交響詩
木乃下真市/津軽三味線とオーケスト
ラのための「海流K A I R Y U」
真島俊夫/三つのジャポニスム
レスピーギ/交響詩「ローマの祭」



弦楽器工房 La Pergola

弦楽器(バイオリン・ビオラ・チェロ)の製作
弦楽器の調整・修理
弓のメンテナンス
弦楽器に関連する商品の販売



〒719-0243
岡山県浅口市鴨方町鴨方2003-27
Tel/Fax 0865-44-3190
Web <http://pergola.liuteria.jp/>
E-mail pergola@liuteria.jp